

## 安全データシート

## ジクロロテトラアンミンパラジウム(Ⅱ)溶液

作成日付:2013/04/04

改定日付:2016/09/01

## 1. 化学品等及び会社情報

化学品等の名称:	ジクロロテトラアンミンパラジウム(Ⅱ)溶液
会社名:	東洋化学工業株式会社
住所:	東京都狛江市中和泉2-26-13
電話番号:	03-3489-5152
FAX番号:	03-3488-1706
緊急連絡先:	同上
推奨用途及び使用上の制限:	パラジウムメッキ

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

すべての項目について、政府向けガイダンス文書で規定された「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」が該当する。  
なお、健康有害性については後述の11項に、「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」の記述がある。

## GHSラベル要素

絵表示:	なし
注意喚起語:	なし
危険有害性情報:	なし

## 注意書き

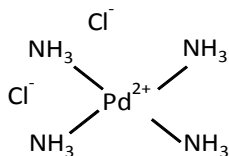
安全対策:	蒸気、ガスなどを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 環境への放出を避けること。 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
応急措置:	飲み込んだ場合:気分が悪いときは医師に連絡すること。 飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ばく露、又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。 漏出物を回収すること。
保管:	施錠して保管すること。
廃棄:	内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。
他の危険有害性:	情報なし

## 3. 組成及び成分情報

## 物質

単一製品・混合物の区別:	単一製品
化学名又は一般名:	ジクロロテトラアンミンパラジウム(Ⅱ)溶液      Tetraammine Palladium(Ⅱ)Chloride
別名:	塩化パラジウムアミン
濃度又は濃度範囲:	Pdとして100g/l
分子式(分子量):	[Pd(NH <sub>3</sub> ) <sub>4</sub> ]Cl <sub>2</sub> (245.45)

化学特性(示性式又は構造式):



CAS番号: 13815-17-3

官報公示整理番号(化審法・安衛法): 1-1122

分類に寄与する不純物及び

安定化添加物: 情報なし

#### 4. 応急措置

吸入した場合:	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合:	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。 皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。 直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合:	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合:	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 直ちに医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の 最も重要な徴候症状:	頭痛、咳、気管支けいれん、吐き気、嘔吐、中程度に軽度の咽頭と 胸骨の痛み、結膜炎。深刻な吸入喉頭、上気道閉塞（喘鳴、嘔声、話すことの難しさ）
応急措置をする者の保護:	情報なし
医師に対する特別な注意事項:	情報なし

#### 5. 火災時の措置

消火剤:	粉末・炭酸ガス・水噴霧・多量の水
使ってはならない消火剤:	情報なし
特有の危険有害性:	不燃性であり、それ自身は燃えないが、強熱すると有害ガスを発生するので、消火作業の際には保護具を着用する。
特有の消火方法:	周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所へ移動する。 移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。 着火した場合は多量の水で消火する。この際、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。
消火を行う者の保護:	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置:	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 風上に留まる。
環境に対する注意事項:	環境への放出を避けること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材:	情報なし
回収、中和:	吸着したもの、飛散したものは容器に回収する。 中和し多量の水を用いて洗い流す。
二次災害の防止策:	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

## SDS-24 ジクロロテトラアンミンパラジウム溶液(3/5)

安全取扱い注意事項:	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 眼、皮膚又は衣類に付けないこと。 ミストを吸入しないこと。 排気用の換気を行うこと。
接触回避:	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	
安全な保管条件:	施錠して保管すること。 容器を密閉して冷暗所にて保管すること。 技術的対策:保管場所には製品を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設定を設けること。
安全な容器包装材料:	気密容器(ポリエチレンなど)

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:	データなし
許容濃度:	
日本産業衛生学会(2015年版)	データなし
ACGIH(2014年版)	データなし
設備対策:	取扱い作業場には、局所排気装置、洗眼・手洗いの設備を設ける。
保護具	
呼吸用保護具:	換気が不十分な場合は、適切な呼吸保護具を着用すること。
手の保護具:	適切な保護手袋(ネオプレン製手袋など)を着用すること。
眼の保護具:	適切な眼の保護具(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用すること。
皮膚及び身体の保護具:	適切な保護衣、保護長ぐつ等を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	淡黄色の液体
形状:	液体
色:	淡黄色
臭い:	弱アンモニア臭
臭いのしきい(閾)値:	情報なし
pH:	10~11
融点・凝固点:	情報なし
沸点、初留点および沸騰範囲:	情報なし
引火点:	情報なし
蒸発速度:	情報なし
燃焼性(固体、気体):	情報なし
燃焼又は爆発範囲:	情報なし
蒸気圧:	情報なし
蒸気密度:	情報なし
比重(相対密度):	約1.12
溶解度:	情報なし
n-オクタノール/水分係数:	情報なし
自然発火温度:	情報なし
分解温度:	情報なし
粘度(粘性率):	情報なし

## 10. 安定性及び反応性

反応性:	情報なし
化学的安定性:	通常の条件では安定である。
危険有害反応可能性:	強還元剤により金属パラジウムに還元される。 強酸との接触、高温にさらされると有害ガスを発生する。 可燃物と接触・混合するとパラジウムの触媒作用により発熱・発火する可能性がある。

SDS-24 ジクロロテトラアンミンパラジウム溶液(4/5)

避けるべき条件:	熱
混触危険物質:	還元剤・金属・強酸・有機物
危険有害な分解生成物:	窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性	
経口:	データ不足のため分類できない。
経皮:	ラットに水溶性Pd塩を皮下注射すると、多量のときは投与部位に壊死を起こす、という報告があるがデータ不足のため分類できない。
吸入:ガス	データ不足のため分類できない。
吸入:蒸気	データ不足のため分類できない。
吸入:粉じん及びミスト	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	皮膚に触れると刺激があり、薬火傷を起こすこともあるが、データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性:	眼の粘膜を刺激し失明することもあるが、データ不足のため分類できない。
呼吸器感受性:	データ不足のため分類できない。
皮膚感受性:	皮膚のアレルギーのおそれがあるが、データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性:	データ不足のため分類できない。
発がん性:	データ不足のため分類できない。
生殖毒性:	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	呼吸器への刺激のおそれがあるが、データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性:	データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性(急性):	データ不足のため分類できない。
水生環境有害性(長期間):	データ不足のため分類できない。
オゾン層への有害性:	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意:

残余廃棄物:	還元焙焼法又は酸化沈殿法を用いてパラジウムを回収する。 焼却の際に有害成分を含有するガスが発生するので洗浄装置のない焼却炉等で焼却しない。(専門業者に委託することが望ましい。)
汚染容器及び包装:	容器は、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号:	-
国連品名:	-
国連危険有害性クラス:	-
副次危険:	-
容器等級:	-
海洋汚染物質:	該当しない
MARPOL73/78附属書II及び IBCコードによるばら積み輸送される 液体物質:	該当しない
国内規制	
陸上規制情報:	毒物劇物取締法、消防法の規定に従う。
海上規制情報:	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報:	航空法の規定に従う。

SDS-24 ジクロロテトラアンミンパラジウム溶液 (5/5)

特別安全対策:

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

該当法令なし

16. その他の情報

参考文献等:

(独)製品評価技術基盤機構「化学物質総合情報提供システム」  
GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報  
職場の安全サイト(厚生労働省)  
試薬ガイドブック  
毒劇物基準関係通知集  
化学大辞典  
16112の化学商品 (2012 化学工業日報社)

※注意:

危険、有害性の評価は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではないので、取扱いには注意してください。

また、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。記載事項は通常の実用を前提としたもので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。